

Navi

Navi

- ① プロジェクトマネージャーとは — 社内外の接着剤 —
- ② 白衣を着ない看護師 — 手術室看護師 —

Vol.

186

2022.7



① ものごとを俯瞰的に捉える調整役

—プロジェクトマネージャーの仕事—

高校生保護者(建設会社)



私は現在、大手建設会社で働いています。ニュースなどでよく耳にされると思いますが、いわゆる「ゼネコン」と呼ばれる建設会社です。ゼネコンとは general constructor (ゼネラル・コントラクター) の略称で「総合建築企業」という意味があります。設計と施工のみの建設会社や工務店と違い、ゼネコンはひとつの企業で建築物を作るために必要な「設計・調達・施工」を総合的に行っています。また建築の規模感で比べると、公共施設や高層ビルなどの建設が事業の中心となっています。

会社は大きく土木事業と建築事業を生業として、私は建築事業に携わっています。平成3年に入社して以来、33年間勤めています。建築事業は建物を建てる仕事で、建物の種別は多岐に渡りますが、私はその中で工場を建てています。

私の所属はプロジェクトを推進していく部門で、プロジェクトをマネジメントするエンジニアリングチームに属しています。職種としては、プロジェクトマネージャーと呼ばれるものになります。

工場を建設するにあたり、社内のいろいろな部門が関わりますが、そのまとめ役がプロジェクトマネージャーの仕事です。受注から設計・調達・施工まで、一貫してプロジェクトをマネジメントし、工期、コスト、品質が守れているかを俯瞰的に管理します。

また、プロジェクトマネージャーは社内だけでなく、お客様を含む社外の人との調整も行います。株式会社である以上収益を考えなくてはなりません。マネジメントする立場の私も会社の収益はもちろんですが、お客様のメリットも大切ですので、要望に応えたいという思いがあります。当然、社内で意見がぶつかり合うことがあります。両者の考えを調整していく途中では、会社やお客様双方から怒鳴られることもあります(笑)。

プロジェクトマネージャーの仕事というのは、学問としての専門性が問われる場面は殆どありません。例えば、数学や物理の知識が直結的に結びつく仕事ではありません。それよりも社内外の交渉や調整が重要な仕事です。そのためには普段から人とのコミュニケーション(会話のキャッチボール)が大切になります。物事を円滑に進めるために相手の話をよく聞き、相手の考えを理解したうえでマネジメントしていくことが重要になります。人付き合いが苦手だった学生時代の私には想像もしていなかった仕事をしています。

高校時代の私は理系が得意だったので、大学で理系の学問を深く学び、何かものづくりができる会社に勤めるのだろうと考えていました。大学時代も機械工学分野に進学したので、漠然とプログラミングなどの仕事が豊富な、コンピュータメーカーに就職するイメージを描いていました。しかし、大学院に進んだときに建設業の方と話す機会があり、専門的な職種も魅力的だ

が、それらを取りまとめて「建物」という大きなものが成果物として見える魅力を勧められ、この道を選びました。今ではやりがいのあるこの道に進んで本当に良かったと思っています。勧めていただいた先輩にはとても感謝しています。

入社したときから懸命に働き、昔は何度も徹夜して仕事をしていました。また、当時は今のようにチームワークで仕事をするという意識も希薄でした。いくつもの案件を1人でこなして、仕事はとてもきつかったです。今ではとんでもないことですが、昔はそれが当然の時代もありました。しかし、そんな環境で働いていたからこそ、「自分だからできた」とやりがいを感じられたこともありました。そういう経験をしてきた立場からすると、今の仕事は何か画一的な感じを受けてしまうことがあります。だからといって、昔の方が良かったというわけではありません。そういう仕事のやり方を変えようと先輩達が試行錯誤して、いろいろと改善されてきたように、私自身も昔と今の仕事のやり方を経験してきた者として、蓄積してきたノウハウを後輩に伝えていかなければならないと考えています。「最小限の労力でいかにいいものを作るか」、それをどう後輩達に伝えていけるかを常に考えています。

日々、勉強やクラブに励んでおられる清教学園の皆様にお伝えするとすれば、世の中は広いです。自分の足下ばかり見ないで、広い視野で物事をみてください。そのためにもいろいろな人と出会って直接話を聞いてください。人と会話のキャッチボールをすることで自分の心も表現されます。人とのコミュニケーション(会話のキャッチボール)から新たな刺激を受け、自分が考えてもみなかった将来像が見える可能性があります。理系だから文系だからという括りだけで物事を考えず、広い視野で捉えてください。自分の得意な分野に進むこともいいですが、自分の得意な分野が、まったく違う分野で役立ち、花開くことはたくさんあります。ですから、学生時代は特にいろいろな人に出会い、話をきいて視野を広げ、将来の可能性を広げてほしいと思います。

もう1つお伝えしたいことがあります。建物を建てるのは更地から数えると、年単位の時間がかかります。その日だけの作業を見ると、ほとんど仕事が進んでいないように思いますが、月単位、年単位でみると、いつのまにか建物ができていきます。毎日の成長は目に見えにくいですが、昨日より今日、今日より明日と少しずつ成長をするように努力していけば、半年先、1年先には「自分が大きく成長していることが実感できる」でしょう。

若い皆さんは、無限の力を秘めています。とことんまで自分を成長させて、立派な大人になられることを願っております。



② 白衣を着ない看護師

～手術室看護師の仕事～

清教学園保護者(手術室看護師)



清教学園の皆さん、はじめまして。突然ですが、皆さんは「手術室看護師」と聞いてどういった姿を思い浮かべますか？帽子とマスクとガウンを身に付けて「メス!」「はさみ!」と、先生にパシッと渡すあの姿ではないでしょうか。実は、私たちはもっともっと多くの役割を担っています。今回は世間あまり知られていない手術室看護師の役割について紹介させていただきます。

病院によってシステムは異なりますが、手術が決定したその日から看護は始まります。外来で患者さんや、そのご家族からお話を伺い、お体の状態やその方の持つ特徴など、個性をしっかりと把握します。例えば、外国の方なら通訳の手配をしたり、目や耳が不自由な方なら筆談の準備や、聞こえなくてもできる合図を決めたり、麻痺があれば移動の手段を決めるなどしています。患者さんそれぞれが持つ様々な不安や疑問をできるだけ解消し、安心して手術が受けられるよう入院前から援助します。

患者さんは手術の数日前～前日に入院されます。あらかじめカルテから患者さんの直前の情報を取り、担当の看護師が病室を訪問します。カルテから得た情報が正しいのか確認したり、手術を目前にしたお気持ちを聞いたり、手術開始から病室に戻られるまでの流れを説明します。

私が勤めている病院では、少しでもリラックスできるよう、アロマオイルを10種類ほどお持ちして好きな香りを選んでいただき、手術をする部屋の中で香らせています。さらにお好きな音楽もお聞きして、手術室の中で流しています。また、手術の準備が正しくできているかの確認もします(準備は看護助手さんのご協力を受けています)。

ベッドの種類、何百種類ある手術器械を各手術に合わせて組んだセットや、体の上にかける清潔なシートや糸や針やメスなど、大きなものから細かいものまで準備します。さらに、手術によって手術中の体勢は様々(仰向けやうつ伏せ、横向きにもなります)なので、患者さんの体型に合わせた準備も必要です。手術は段取りが命なので、準備は大変重要な業務です。もちろん、その日の手術を担当しながらこれらの業務を行うので、日によっては座る時間が少ないこともあります。

人員不足は看護師全体が抱える問題で、どの部署でも慢性的に続いています。心身ともにタフでなければ継続するのは難しい仕事であり、毎年のように退職者が一定数いることは事実です。しかし先輩や同僚、時に医師などの仲間が存在が大きな支えとなり、専門職として成長していくことができます。苦しい時期を支えて下さった方たちとの交流は今も続いてお

り、私にとってかけがえのない財産となっています。

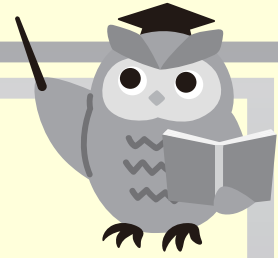
また、生涯的な学習の継続もこの職業の必須条件です。人体の構造は大昔から変わりませんが、手術の方法や使用する道具は日進月歩で進化しています。安全に、そして無事に手術が終わるよう、新人もベテランも継続して学習をしていく責任があります。話を手術室業務に戻しますが、手術当日はメスなどの器械を渡す「器械出し看護師」と、術中の記録をしたり、環境整備や患者さんの状態管理を麻酔科医と共に「外回り看護師」がペアで担当します。

また、手術は執刀医、助手の医師、麻酔科医師、臨床工学士、放射線技師などチームで臨みます。これらのメンバーを繋ぐことも私たちの役割の1つであり、チームで働く喜びを感じられる部署だと思います。まれに12時間以上にも及ぶ手術もあります。病院によっては夜勤体制がなく、時に朝から深夜まで長時間勤務になることもあります。まさに体力勝負です。

しかし前述してきた通り、しっかり準備をして臨んだ手術が無事に終わり、患者さんが問題なく病室へ戻られたときの達成感是非常に大きなものです。疲労感と共にやりがいを強く感じる瞬間です。

長くなりましたが、私の拙い文章が少しでもみなさんのお役に立ち、この仕事に興味を持って下さる方がいたら嬉しく思います。今回はこのような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。





職業を調べよう!

仕事を選びに迷ったらまずはこのサイトを見てみよう。

職業情報提供サイト(日本版O-NET)(愛称: job tag(じょぶたぐ))

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User>



職業情報提供サイト(日本版O-NET)(愛称: job tag(じょぶたぐ))は、「ジョブ」(職業、仕事)、「タスク」(仕事の内容を細かく分解したもの、作業)、「スキル」(仕事をするのに必要な技術・技能)等の観点から職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動を支援するWebサイトです。

まだ就業経験のない方や再就職先を探している方が、どんな職業があるのかいろいろな切り口から探したり、その職業ではどんな仕事内容・作業が一般的に行われ、どんなスキルや知識を持った方が働いているのか調べたりすることができます。

皆様のご職業・仕事内容を紹介して下さい!!!

執筆して頂ける方がいましたら、以下にご一報を下さい。

お問合せ

〒586-8585

河内長野市末広町623 清教学園中等学校内グリーンルーム(PTA室)

TEL・FAX 0721-62-4406

✉ pta@seikyo.ed.jp



清教生徒のきみたちへ

—さまざまな職業との出会いを—

発行: 清教学園PTA